

2016年度 北海道ブロック社会福祉実習セミナー開催要項

ソーシャルワーカー養成教育における卒業時到達目標・水準はどうあるべきか
—社会福祉系モデル・コアカリキュラムをとおして考える—

【開催趣旨】

社会福祉士養成教育においては“実践力のある社会福祉士”の養成が志向されていますが、その中で「卒業時の仕上がり像」については、養成校間・実践現場間・養成校—実践現場間のいずれにおいても十分な議論と共有がなされていないのが現状です。これを踏まえ、2015年度の実習セミナーでは、「社会福祉士資格を基礎とした実践力のあるソーシャルワーカー養成—卒業時到達水準に関する養成校と現場の共通認識の形成に向けて—」をテーマとしました。そこでは、卒業時到達目標・水準について関係者間での共通認識を形成することを目指し、現状認識の確認と意見交換および今後の取り組み課題の整理と明確化を意図しつつ、卒業時到達目標・水準については2ヶ年計画で取り上げることとしました。

今年度は、以上の内容について関係者間での議論をさらに深め、現在の到達点と今後の取り組み課題をより具体的な姿として共有することを意識し、「社会福祉士資格を有するジェネラリスト・ソーシャルワーカー養成」を念頭に卒業時到達目標・水準の一端について検討することとします。

そのための具体的検討材料として、「改訂版社会福祉系モデル・コアカリキュラム（案）」（2011年、一般社団法人日本社会福祉教育学校連盟）を取り上げます。2015年9月に発表された「新福祉ビジョン」以降の政策動向およびそれを踏まえた今後予定されている社会福祉士養成課程の見直しでは、他職種との連携の必要性が高まる一方、新たな競合関係も見込まれます。そのような状況の中で、ソーシャルワーカーの専門職としての独自性・有意味性が問われているといえます。そこで、改訂版社会福祉系モデル・コアカリキュラム案が示す「すべての学生が到達すべき標準的目標」を養成校と実践現場の立場から見直し、今後の取り組み課題について整理・共有することを目指します。

【主催】北海道ブロック社会福祉実習研究協議会

一般社団法人日本社会福祉士養成校協会北海道ブロック

一般社団法人日本社会福祉教育学校連盟北海道ブロック

【後援】公益社団法人北海道社会福祉士会（予定）

一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会（予定）

【日時】2016年11月12日（土）10：00～17：45（受付9：30～）

【会場】札幌医学技術福祉歯科専門学校（講堂） 地図参照

〒064-0805 札幌市中央区南5条西11丁目1289-5 地下鉄東西線西11丁目駅 徒歩5分

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

【参加費】養成校教員、現場指導者：1,000円 学生：無料

【教育交流会】会場付近 参加費3,500円程度 18:30～（事前申し込み）

【自由研究報告】申し込みを受け付けます 申し込み期限：10月31日（月）

9：30	【受付】
10：00	【開会挨拶】 道ブロック運営委員長 池田 雅子（北星学園大学）
10：10	全国動向報告 道ブロック運営委員長 池田 雅子（北星学園大学）
	委員会報告
	・実習委員会 実習委員長 越石 全（札幌医学技術福祉歯科専門学校）
	・実習評価表小委員会 委員長 丸山 正三（日本福祉学院）
	・実習前評価小委員会 委員長 川勾 亜紀奈（北海道医療大学）
	・研修委員会 研修委員長 巻 康弘（北海道医療大学）
11：00	【基調報告】「近年の政策動向とソーシャルワーカー養成に関する今後に向けた論点整理」 伊藤 新一郎（北星学園大学） 近年の社会福祉に関係する政策動向（新福祉ビジョン等）における3つの視点は、①複雑化する支援ニーズ、②生産性の向上と効率的なサービス提供体制の確立、③総合的な福祉人材の確保・育成である。そのキーワードは、「新しい地域包括支援体制」「分野横断的／包括的相談・支援」「コーディネート人材」等があげられる。以上について概観し、そのポイントを整理した上で、ソーシャルワーカー養成の今後に向けた論点整理を行う。
12：00	昼食休憩
13：00	【基調講演】「保健・医療分野の専門職教育における卒業時到達目標・水準について」 医療系専門職教育では、モデル・コアカリキュラムにより卒業時の到達目標・水準が明示されている。先進的な保健・医療分野における例として、保健師の養成教育におけるコアカリの内容、導入の経緯、実践現場との共有方法や教育効果等について学ぶ。 佐伯 和子（北海道大学 保健科学研究院 保健科学部門 創成看護学分野 教授）
14：00	【シンポジウム】「ソーシャルワーカー養成における卒業時到達目標・水準を考える」 ソーシャルワーカー養成教育における卒業時到達目標・水準として提示された「改訂版社会福祉系モデル・コアカリ」の中から「Ⅲ群 理論的・計画的なソーシャルワーク展開能力」を取り上げる。養成校からは教育の実施状況について課題も含めて報告を受ける。現場からは、相談機関と福祉施設という異なる実践現場において、新人職員に要求する実践力や養成校の教育内容や水準に対する評価や期待について報告を受ける。その上で、ソーシャルワーカーに求められる「実践力」の一端について検討し共有を試みる。 司 会：越石 全（札幌医学技術福祉歯科専門学校） 報 告：「改訂版社会福祉系モデル・コアカリの概要」 池田 雅子（北星学園大学） シンポジスト：尾形 良子（北翔大学） シンポジスト：能登 大起（障がい福祉サービス事業所北愛館） シンポジスト：下倉 賢士（札幌南青洲病院）
16：30	休 憩
16：40	【自由研究報告】（1本につき25分で2本まで報告可能です）
17：30	【総括：次年度に向けて】 道ブロック運営委員長 池田 雅子（北星学園大学）
17：45	【終了】

2016年度 北海道ブロック社会福祉実習セミナー 参加申込用紙

下記のメールアドレスまでお申込ください。

北海道ブロック事務局（北星学園大学 社会福祉学部 畑 亮輔 研究室）

E-mail : hata@hokusei.ac.jp

参加者氏名	職 名	教育交流会への申込
		あり / なし
		あり / なし
		あり / なし
		あり / なし
		あり / なし

<ご連絡先> 必ずご記入をお願いいたします。

代表者氏名 :
所 属 :
住 所 : 〒 —
TEL : _____ () _____
E-mail :
通信欄